

堀川運河の歴史と伝統を 活かしたまちづくり

宮崎県日南市

堀川運河ふれあい文化交流促進協議会

手づくり郷土賞

講評

一般部門

大賞部門

資料集

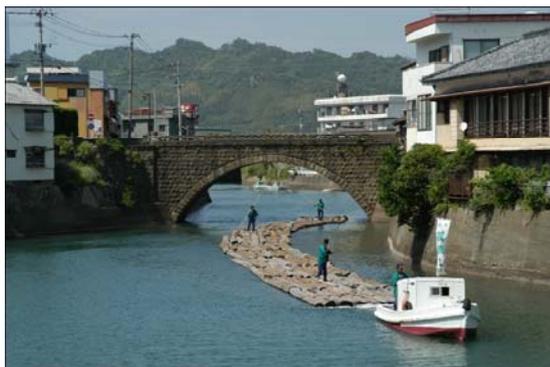
江戸時代から存在する油津・堀川運河では、平成5年度から19年度にかけて宮崎県の港湾環境整備事業により、地場産品の飫肥石や飫肥杉を活かしながら、護岸の修復や復元、緑地広場の整備、かつて運河に架けられていた木橋（夢見橋）の復活などが行われました。

陸上交通の発達や堀川運河の水質悪化等により、運河としての本来の機能が薄れてきたことから、昭和51年度に、堀川運河の埋立計画が承認されました。その後、油津の港や堀川運河を保存したいという地元市民の熱い思いによって、平成6年に港湾計画の見直しが行われ、堀川運河が失われることなく現在の整備に至っています。当時の市民の情熱は、現在も冷めることなく、大正から昭和初期に栄えた賑わいの再創出に向けて、さらに活動が進展しています。

「堀川運河ふれあい文化交流促進協議会」では、地元の飫肥杉を用いた木造船（チョロ船）、過去の風景を再現する弁甲筏流しなどの歴史的な文化を再現させる活動や、堀川運河や油津港における木造船の体験乗船運航といったイベントを通じて、油津のまちの賑わいを創出しています。

緑地広場のシンボルとなる夢見橋は、設計段階から住民が参加し、地元の技術・材料を活かした整備が行われました。また、夢見橋の整備に関わるイベント（上棟式、完成式）では、市民が企画運営に携わり、社会資本が市民の財産として広く認識、活用されています。

夢見橋の整備により地場産品の飫肥杉が見直され、杉の素材を活かしたランプシェード等を赤れんが館に展示するなど、運河と杉にちなんだ地元の新たな活動の展開が始まっています。



堀川運河の風景（弁甲筏流し）



堀川運河周辺で年間を通して催されるイベント



堀川運河クリーン大作戦



ご当地グルメ「カツオ炙り重」



住民参加により整備された「夢見橋」

- ◆所在地
宮崎県日南市油津
- ◆活動内容
油津フェスタ（年8回開催）、堀川まつり（毎年1回開催）
イベントに合わせたチョロ船、弁甲筏流しの運航 など
- ◆活動主体名
堀川運河ふれあい文化交流促進協議会
(<http://www.kankou-nichinan.jp/sees/>)
- ◆連絡先
堀川運河ふれあい文化交流促進協議会
0987-31-1134（日南市観光課）

